

“困った”を解決! アイデア商品誕生

有限会社 三國剛俊商店(みくにコンピュータースクール)

〒018-3331 秋田県北秋田市鷹巣字東上網27番地2
TEL-FAX 0186-62-2483 / http://www.micspc.com



「本当に便利
なので試して
みてください」と
三國代表

満杯になったら音でお知らせ 特許も取得「ゴ見張りくん」



“あったら便利”を具現化

北秋田市鷹巣でみくにコンピュータースクールを運営する三國剛俊商店。その一方で、ローソン鷹巣綴子店のオーナーでもある三國代表には悩みがあった。

「コンビニに家庭ゴミを持ち込む人が多く、暫く目を離すとすぐにゴミ箱がいっぱいになるんです。従業員たちは、ゴミ箱の様子が気になって何度も外に見に行っていました」。

通常業務の傍らでゴミ箱を確認するのは無駄な手間を生み、業務に集中できない。ゴミ箱を店内に移設することも考えたが、それだと本当に必要な人が利用できない。そんな時に何気なく見ていたテレビ番組がヒントになった。

「トイレを綺麗に保つため、汚れが目立ったら利用者がボタンを押して清掃係に知らせるシステムが紹介されていて、それをゴミ箱にも応用できないかと思いました」。

ゴミ箱の中の様子を自動で検知し、店内に音で知らせるシステム。そのアイデアを実現するべく動き出したのが、みくにコンピュータースクールの講師で妻の三國作智子さんだ。だが、容易に実現できると思った工程も、実際は非常に厳しいものだった。

「企画・設計はできても基板の製作は素人。失敗作だけがどんとどんと山のように溜まっていくばかりで、挫けそうになったこともありましたが」と作智さんは笑う。

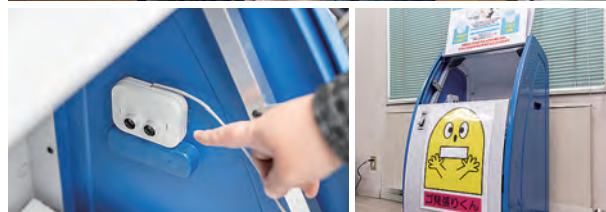
長年の努力が実り、感じた手応え

転機となったのは3年前だ。県産業技術センターに相談し、技術的な不足を補いつつ防水や温度・湿度変化といった様々な条件下での検証を実施。さらに翌年、あきた企業ファンド事業に採択され、コーディネーターのアドバイスのもと事業計画を立て、商品化に向けたスケジュールを強く意識した。先を見据えての特許申請や自身の運営するコンビニでのモニター試用、また、今年の11月にはニーズ調査のための展示会への出展も行った。

「展示会では想定以上の反応があり、販路拡大への手応えを感じました。アイデア次第で、ゴミ箱に限らない活用方法も考えられる。改良を加え、多くの人を助けられる商品にしたいですね」。



開発の立役者の作智子さん。特許も取得。「ビジネスマッチ東北2018」では大きな反響があった。



事業概要

あきた企業応援ファンド事業

地域資源を活用した県内企業や経営革新の承認を受けた県内企業の新商品開発等の取組を支援します。

お問い合わせ

設備・研究推進課

TEL.018-860-5702